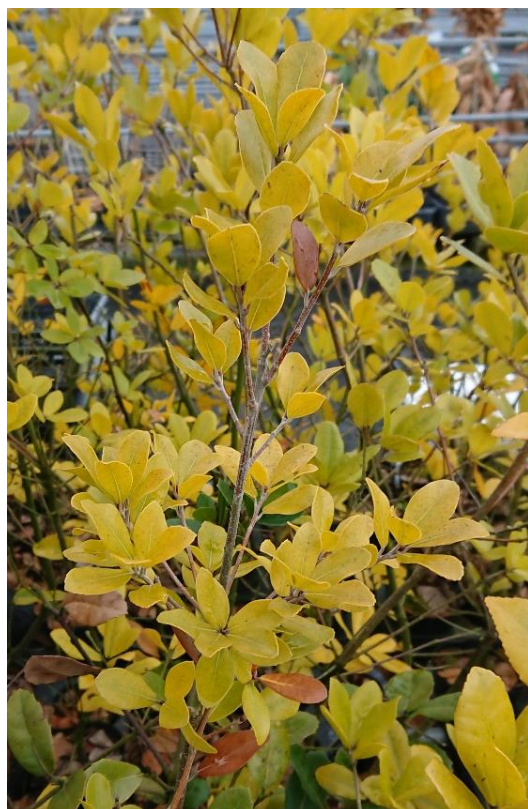


ウバメガシ *Quercus phillyraeoides*



原産は日本。関東以西の山中や海岸地帯に多く分布する。丈夫な性質で乾燥や塩風にも強い。主に庭木用に用いられ、刈込に強く葉の密度が高いため垣根利用も多い。また備長炭の材料としても用いられ和歌山県に多く見られたが減少気味との情報がある。葉はカシ属の中では最も小さく長さ4～5 cm、幅1.5～3 cmくらい。枝先に輪状に互生する。艶があり半分から上には刻みがある葉は美しく、花材としての利用も面白い。耐寒性はそれほど高くなく、北関東～東北より寒い地域では試験的な栽培が必要かと思われる。

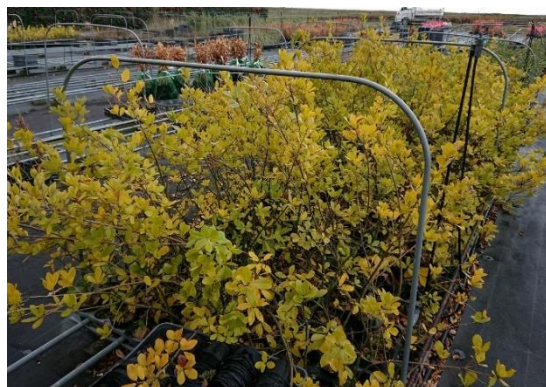
左図 冬季に黄葉したウバメガシ。輪状につく小さめの葉が美しい。栄養状態の良い若い樹は黄葉しにくくなる。
撮影日：2020年1月21日

栽培（切り枝用）：

株間×条間 80～100 cm×150～200 cm

排水の良い土地を選らび植える。肥料が多いと茎が太く紅葉しにくくなるので注意。剪定には強く芽吹きしやすいが、冬を避けて行う。定植年から翌年春に2～3回ほど、使いやすい太さの枝を作る。

1年生苗



2年生苗



実生苗

10.5cm ポット 1年生苗 650 円/ポット

納期：5月